

1. 前事業年度の事業報告（2024 年度）

NPO 法人トラストサルン釧路

トラストサルン釧路は、釧路湿原の生態系を保全するため、市民からの寄付で流域内に自然保護地をつくることを主目的とし、生態系の維持と回復、調査研究、普及啓発、提言などの活動をしています。

2023 年度は新型コロナウイルスの流行が下火になり、久しぶりに市民参加の野外行事を再開しました。その甲斐あって、新たな会員を迎えることもできました。また、新たに大小 10 カ所の自然保護地を成立させるなど、定款に定めた特定非営利活動を以下のように実施しました。

なお 2023 年度において、非営利活動以外の活動（収益事業）は行っていません。

1. ナショナルトラスト活動

2023 年度は、釧路湿原内最大の湖沼である塘路湖畔に隣接する国立公園区域外に 44.5ha の大きな土地を取得、近隣の山林 4.6ha の寄贈も受けました。さらに、このところ大規模な太陽光発電所の設置計画が目白押しと言われ、その対象地とされている公園区域外の南部湿原に、2 カ所の土地 (2.6ha, 10.6ha) を取得、また寄贈により 6 カ所の保護地ができました。太陽光発電施設は湿原の生態系に大きな影響を与える恐れがあり、この抑止のために保護地を確保したことは、大きな意味があります。一方、土地取得のための湿原保護基金には本年度 97 件、1,614,000 円が寄せられました。土地購入により基金が枯渇したとのお願いにたくさんの方々が応じてくださり、また会員のご逝去に伴い遺族から香典に代えて基金へのご寄付をお願いいただくなど、例年に比べ多額となりました。

2. 自然再生の取り組みと保護地の管理

自然林再生のために地元樹種の苗木づくりと植樹・育林を継続して行いました。春秋の市民参加行事に加え、会員等のボランティア作業により保護地内に 228 本の植樹、苗畑では苗木約 1,800 本を管理し、植栽地での下草刈りや防鹿柵の修繕も行いました。また、勝野記念育苗活動は役員のボランティア作業により苗畑で苗木の管理を行いました。橋場植林活動では新型コロナの影響などで本格的な植林は行なえず、小型防鹿ネットの点検と補修を行いました。保護地の現状を記録するため、主要な保護地でドローンを使って上空からの写真撮影を行ないました。資金援助を受けて進めてきたトラスト地マップは、間もなく完成の予定です。

3. 会の基盤づくり

会員や役員による入会勧誘、および各種行事の際にも勧誘を行なった結果、年度内の新入会員が 10 名ありました。ただご高齢会員の退会などがあって、正会員数は 180 名と少し減少しました。運営費への寄付は 36 件寄せられました。湿原を守る水源林再生の活動に関しては、次年度（2024 年度）の自然林再生活動のための助成金を 2 件獲得しました。

4. 広報・主張・啓発活動

2023 年度の市民参加行事は、春の湿原再生の森づくり、保護地の観察会、秋のどんぐり記念日を開催し、それぞれ多数の一般市民および会員の参加を得ました。会員向けの会報『サルンだより』を 3 回発行しました。インターネットのホームページで会の活動を紹介し、保護地の簡易マップも公開しました。

YouTube チャンネルでは引き続き、動画を用いて活動を紹介しています。12月に東京で開催されたナショナル・トラスト全国大会に出席し、全国のトラスト団体や支援団体と交流しました。釧路湿原自然再生協議会の本会議および「生態系評価ワーキンググループ」に湿原保全の立場で参加しました。マスコミが注目する南部湿原での太陽光発電問題に関して、新聞および雑誌記者の取材を受けました。

5. 他機関・団体との連携

釧路湿原自然再生協議会に参画しているほか、太陽光発電施設の問題や魚類の生息環境改善に取り組んでいる釧路自然保護協会と様々な連絡を取り合いました。またキタサンショウウオの保護を目的に活動している環境把握推進ネットワーク PEG とも情報交換し、保護地の寄贈をいただきました。長年にわたり森づくりへの助成をいただいているコープさっぽろの森づくり現地視察を受け入れ、講演会や助成金授与式を通じて交流を深めました。大規模太陽光施設に疑問を持つ地元の市民団体「もっと釧路湿原」から呼びかけがあり、講演会・ワークショップに出席しました。

【ご寄付】

○企業・団体等より

(一財)未来 2016、山梨学院小学校けやきの会、(株)藤プリント、NPO 釧路湿原やちの会より⇒湿原保護基金へ

ふみぞの松田皮膚科、コープさっぽろ、富士フィルム B.I.(株)端数倶楽部、(株)藤プリント、サルン作業チームより⇒一般会計へ

○個人より

湿原保護基金へのご寄付を例年より多数いただいたほか、一般会計（運営費）への寄付は Yahoo! ネット募金も含めて多数の方々からいただきました。

【助成金等】

○コープさっぽろ未来の森づくり基金より 2024 年度の緑化活動に対する助成金 100,000 円を、2023 年度中に新たに受け入れました。

○森と緑の会緑化公募事業に採択され、2024 年度の助成が決定しています。

【表彰等】

なし

2023 年度活動日誌（主なもの）

【2023】		
4/4	橋場植林事業開始（小型防鹿ネットの補修など 11/9 まで、延べ 6 日）	5/27 湿原再生の森づくり（一般 19 名と会員 7 名で 84 本を植樹）
4/14	土地の購入に関する理事打合せ（～5/21 主に電子メールによる）	6/2 サルンだより 137 号発行
4/22	会員のボランティアによる一般緑化事業開始（～11/12、延べ 17 日）	6/19 土地の購入に関する理事打合せ（8/12 まで、主に電子メールによる）
5/2	勝野記念育苗事業開始（～10/14 延べ 7 日）	6/25 2023 年度通常総会（釧路市まなぼっと）
5/22	定時監査（事務所での対面および郵送）	7/8 橋場氏寄付金による自然林再生活動報告書完成（2022 年度分）
		9/1 サルンだより 138 号発行

- | | | | |
|-------|--|-------|--|
| 10/2 | コープさっぽろ釧路地区委員会の「釧路湿原の保全の取り組みを学ぶ」18名参加 | 12/16 | 対面での理事会(緑ヶ岡・貝塚ふれあいC)
【2024】 |
| 10/6 | 保護地の観察会(キラコタン周辺2カ所、コッタロ1カ所)8名参加 | 1/10 | サルンだより139号発行 |
| 10/7 | 富士フィルム BI(株)端数倶楽部の方々に対してトラスト活動に関する勉強会(16名) | 2/23 | 釧路市パシクル地区に計画されているメガソーラーの住民説明会に出席(泉理事) |
| 10/8 | どんぐり記念日(秋の植樹祭)55名参加で90本の植樹、午後には保護地の視察会 | 3/2 | 「もっと釧路湿原」講演会・ワークショップに出席(泉理事、黒澤理事長) |
| 11/29 | コープさっぽろ主催のあすもりフォーラムに参加(松本副理事長) | 3/5 | コープさっぽろ未来の森づくり助成贈呈式および交流会に参加(黒澤理事長、栗田理事、泉理事) |
| 12/9 | ナショナル・トラスト全国大会に参加(松本副理事長) | 3/13 | 釧路湿原自然再生協議会に出席(松本副理事長) |